

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
<p>(1) 創業・新事業開拓を目指す取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 墨田区と連携した創業支援事業の実施 ○ 国や自治体と連携した施策の活用支援 ○ 東京海洋大学・芝浦工業大学・千葉商科大学・東京理科大学・都立産業技術研究センター等と連携した経営・技術相談の実施 ○ 連携機関を活用した創業支援融資(保証協会創業支援融資の推進等) <ul style="list-style-type: none"> ・ ひがしん「女性・若者・シニア創業サポート資金」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年1月20日に施工された産業競争力強化法に基づき、墨田区における創業の促進を目的として、墨田区、当金庫、各支援機関が連携して策定した「創業支援事業計画」が同年6月20日付けで国から認定を受けた。 ・ 中小企業が国や自治体の各種施策を活用する為の支援を行うことが地域金融機関に期待されている。 ・ 東京海洋大学、芝浦工業大学による技術相談に加え、千葉商科大学と連携した「経営診断実習」を行っている。平成25年度からは東京理科大学、平成26年度には都立産業技術研究センターと連携した。 ・ 廃業率が開業率を上回る中、地元自治体、保証協会との連携を通じて創業者に対して創業支援融資に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひがしん創業支援事業」として、「ひがしん創業セミナー」、「ひがしん創業塾」、「相談窓口」の3つの事業を実施。創業希望者や創業間もない方を対象に創業計画書作成の為の講義や個別相談等を実施した。 ・ 施策活用の促進を目的として、国や自治体と連携した補助金・助成金説明会を開催した。 ・ 経営診断実習の実施 ・ 技術相談の実施 ・ 芝浦工業大学および東京理科大学、東京電機大学と城東地域活性化協議会へ参加 ・ 従来から各自治体と連携し創業支援融資に対応し創業者の支援を行っている。また、各保証協会等と連携し創業者に対して保証協会保証付き融資にて支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひがしん創業セミナー」に32人、「ひがしん創業塾」に28人が参加。「相談窓口」では41件の個別相談を実施。創業希望者等の創業に対する理解度向上や課題解決等を図った。 ・ 補助金・助成金説明会 開催回数 4回 参加者数 約360名 2/5 千葉地区(船橋商工会議所) 2/9 墨田地区(両国本部) 2/16 江東地区(芝浦工業大学 豊洲キャンパス) 3/11 江戸川地区(タワーホール船堀) ・ 経営診断実習実績 2社 ・ 技術相談実績 17件 ・ 城東地域活性化協議会 3回開催 ・ 平成27年度の創業支援融資実績 実行件数 182件 実行金額 943百万円 内、女性・若者・シニア創業サポート資金 10件、50百万円
<p>(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業の多様な資金調達への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金・助成金の活用支援 ・ 事業所ローン「さくせす行進曲」の推進 ・ 事業サポート資金の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業が国や自治体の各種施策を活用する為の支援を行うことが地域金融機関に期待されている。 ・ 担保、保証人に過度に依存しない融資として、平成13年度から企業信用格付又は、スコアリングで明確・簡便化した「さくせす行進曲Part1」を、15年5月からは融資対象先を拡大した「さくせす行進曲Part2」を発売し、平成25、26、27年度において内容を改定し、取扱金額の増額並びに、取扱金利の引下げを実施した。 ・ 事業性不動産購入、建築に対応する長期資金。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業応援センターにおいて、中小企業診断士等による補助金・助成金申請書の要件不備チェック、記載内容に関するアドバイスを実施した。 ・ 企業信用格付、スコアリングによって、融資の可否が簡便に判定出来、過度に担保、保証人に依存しない商品でもある事から、顧客の資金ニーズにスピーディーに対応可能で、顧客の負担も軽減しているため、残高も増加している状況である。 ・ 設備資金の需要に対し、低利の長期資金を提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国・都県の補助金・助成金採択件数 125件 【平成27年度実績】 ・ 「さくせす行進曲Part1、2」 実行件数 3,711件 昨年度対比 実行金額 42,418百万円 +2,138百万円 ・ 「事業サポート資金」 実行件数 104件 実行金額 14,071百万円

<ul style="list-style-type: none"> 医療、介護福祉事業所向け事業資金「成長」Ⅰ、「成長」Ⅱの推進 東京商工会議所会員専用「マイライフB」の推進 経営者保証に依存しない融資の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 医療、介護、福祉事業者向けの商品として発売し、創業、新規開業についても対応可能としている。 ㈱クレディセゾン の保証付商品である「マイライフ」を、東京商工会議所会員専用の商品へアレンジして発売。 地域密着型金融の取組みの中で、これまでに「不動産担保・個人保証に必要以上に依存しない融資手法の徹底」「経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないことを原則とする融資慣行の確立」等の流れを経て、平成26年2月1日より「経営者保証に関するガイドライン」の適用が開始された。これに伴い、当金庫は、本ガイドラインを遵守するための体制整備を実施し、経営者保証に依存しない融資に積極的に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療、介護、福祉事業等、成長分野向けの商品として、運転、設備資金とも低利の資金として、取扱っている。 東京商工会議所会員専用のフリーローン「マイライフB」として、運転、設備、事業資金一本化等に対応。 新規融資受付時に経営者保証なしでの申し出があった場合や、既存の貸出金について保証人解除の申し出があった場合は、ガイドラインの対象になるかを判断し、対象となる場合は保証人なしでの融資対応や保証人の解除に応じている。また、対象にならない場合は、対象としない理由及び今後対象になった時には保証人なしでの融資や保証人解除に応じることについても十分に説明し、経営者の保証付で融資をすること、または、引き続き保証人となることについて承諾を得ている。なお、ガイドラインの対象となるお客様については当金庫から積極的に保証人なしでの融資や、保証人の解除に対応している。担保・保証に必要以上に依存しない融資手法の徹底のため、取引先事業者の成長性・収益性などの評価を行う目的で事業性評価シートを策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「成長」Ⅰ、「成長」Ⅱ 実行件数 14件 実行金額 730百万円 「マイライフB」 実行件数 6件 実行金額 11百万円 経営者保証なしでの新規融資 168先 185件 既存貸出金の代表者保証解除 57先 61件 H28.3.9 事業性評価を元に「事業性評価に基づく目利き力強化研修」を実施 入庫6～7年目の営業課職員37人が受講
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業への人材マッチング 首都圏の大学等と連携したインターンシップの推進 ○ 大手企業OBや専門人材と中小企業のマッチングを行う「新現役交流会」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏16大学が、地域全体へのインターンシップ等の普及・定着やキャリア教育の充実を図ることを目的とした「首都圏におけるインターンシップ等の拡充・高度化」事業に金融機関として唯一参画した。 経営課題を抱える中小企業と大手企業で実務経験を積んだ人材（新現役）とをマッチングさせて経営課題解決支援を図る事業を経済産業省関東経済産業局が実施しており、また地域金融機関による共同実施を推奨していた。 	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップの受入れや就職活動前の学生と中小企業による交流プログラムに参加する中小企業を紹介し、開催を支援した。 経済産業省関東経済産業局と協力し、新現役交流会を開催した。その結果、新現役による支援が決まった中小企業に対し、国の専門家派遣制度を活用した具体的な支援を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 志事発見！インターンシップツアー受入れ企業 5社紹介 ジョブスタディ・コラボ・かんとぅ参加企業 2社紹介 新現役交流会 参加企業 12社 マッチング成約 9社
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業の海外進出支援 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度より、海外業務支援担当を新設し、中小企業の海外進出のサポートに取り組んでいる。平成25年11月には、タイのバンコクにある泰日経済技術振興協会（以下TPA）との連携により、バンコク駐在員デスクを設置し、タイへの進出企業の支援など、サポート体制の強化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本貿易振興機構（JETRO）、関東経済産業局、中小企業基盤整備機構、信金中央金庫など各関係機関との連携による海外展開支援を行っている。 TPA内に当金庫バンコクデスクを設置し、TPA職員とTPAへ派遣している当金庫職員で構成する日タイ海外事業展開プロジェクトとして、タイへの進出企業支援を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度海外進出相談実績 46件 内バンコクデスクTPAへの相談 21件 外国人従業員理解の一助とすべく、タイの大学生5名をインターンシップ生として当金庫及び海外進出を検討している取引先企業で受入れ。 補助金採択先 2件 海外子会社への直接貸付 2先 40百万円

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
<p>(3) 経営改善が必要な取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経営改善取組み先に対する経営改善計画書の策定支援と進捗管理の徹底 ○ コンサルティング機能の発揮、企業支援を含めた新規融資資金の円滑供給の推進 ○ TKC東・東京会との連携による取引先企業への支援強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度のリレーションシップバンキング機能強化計画に伴い、取引先と共に地域経済の発展に向けた活動を展開する為、審査部内に「企業支援担当」を設置(その後、平成21年に地域支援部、平成24年にお客様サポート部に移行。現在は与信管理部所属)。以降、取引先の問題・課題に対して、取引先と共に考え、よりコンサルティング機能を発揮し、結果として取引先と当金庫の双方の業績向上や発展・繁栄を主眼として積極的な活動を展開してきた。 ・今後も取引先と当金庫の双方の業績向上、発展・繁栄を実現するために地域密着型金融を実践し、取引先の真の意味での経営改善支援を強化していく。 ・本部企業支援担当を中心に経営改善支援先に対して現状分析、課題・問題点の抽出、解決案等を取引先と共に膝を交えて考え、それらを経営改善計画書の策定を通じて従来と同様にコンサルティング機能を発揮してきた。 ・平成22年10月1日にTKC東・東京会と当金庫の取引先である中小企業の経営改善・再生支援を目的に「経営改善・事業再生」に関する業務連携、協力に関する契約書を締結している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は地域密着型金融の更なる推進により、コンサルティング機能の発揮と具体的な解決策を提案し実効性のある経営改善計画書の策定(再策定を含む)支援を通じて経営改善支援に取組むとともに、経営改善計画書の進捗管理を行った。 ・平成27年度の経営改善取組先は155先を支援先として選定し、支援活動を展開した。 ・コンサルティング機能については、本部職員のみならず営業店職員にも必要不可欠であり、27年度は全支店長を対象として、(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)の専門家を招き、事業性評価研修(H27年7月15日)を実施、融資担当役席を対象に中小企業の経営改善・事業再生支援についての研修(H28年2月17日)を実施した。 ・経営改善の必要な支援対象企業に対しても、企業の存続と成長性を考慮し、補助金活用の提案、お客様サポート部と連携した補助金申請書サポートを実施した。 ・具体的な活動として、本部企業支援担当者、営業店職員、TKC東・東京会所属の税理士が、企業訪問し、経営改善計画書を策定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は輸出型企業を中心に一部景気回復局面となったものの、中小企業を取り巻く環境は依然厳しく、企業支援対象先155先のうち、債務者区分がランクアップした先は9先となった。 ・上記経営改善取組先155先のうち117先の経営改善計画書の策定支援と進捗管理を行った。 ・平成27年度は全支店長を対象に行った事業性評価研修では、事業性評価の位置づけや考え方等について周知を図った。また融資担当役席を対象とした経営改善・事業再生支援研修では、経営改善・事業再生のポイントや外部機関の活用等について周知を図った。 ・企業支援対象先企業による補助金採択 1件 ・企業支援対象先企業による融資実績 1件 10百万円 ・平成27年度のTKC東・東京会との連携による経営改善計画書の策定は16先となった。
<p>(4) 事業再生や業種転換が必要な取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業再生支援協議会及びその他外部機関の活用推進 ○ 再生手法(資本性借入金、第二会社方式等)の活用による再生支援の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援については取引金融機関が多数等により、全体の調整が必要で当金庫のみでは対応が難しい場合や、税制などの専門性に絡む再生の場合は、中小企業再生支援協議会、(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)等の外部公的支援機関と連携している。 ・過去にDES、再生ファンドの活用実績があることから、本業では利益、キャッシュフローを計上するも、多額な借入金により財務が毀損している企業を対象に、再生手法の活用先を検討してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会、(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)等の公的支援機関と積極的に連携強化を図り、再生支援に取り組んだ。 ・平成27年8月に(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)と特定専門家派遣契約を締結し、取引先事業者に対するコンサルティング機能の強化ならびに取引先事業者に対する事業性評価の体制を構築した。 ・千葉県産業復興相談センターとの連携による事業再生支援を実施した。 ・官民ファンド(とうきょう中小企業支援ファンド)との連携による事業再生支援を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の中小企業再生支援協議会等への事前相談17先を実施。 ・8先について再生計画が策定された。 ・平成28年3月取引先事業者について特定専門家派遣を実施した。 ・当金庫の取引先について、千葉県産業復興相談センターの支援のもとDDSを活用した事業再生支援を実施した。 ・官民ファンド(とうきょう中小企業支援ファンド)へ再生目線での債権売却を実施した。

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
<p>(5) 事業承継が必要な取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部支援機関との連携強化による事業承継、M&A等の支援 ○ 事業承継セミナーの開催 ○ 組織化による交流活動を通じた人材育成 ・「ひがしん若手経営者の会 ラパン」(若手経営者等で構成)の活動強化 	<p>近年、経営者の高齢化が進行する一方で後継者の確保がますます困難な状況になっており、円滑に事業を引き継ぐ為の支援が必要とされている。</p> <p>円滑な事業承継の実現には、早い時期から実施計画を策定し、計画的な事業承継対策を行うことが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業が直面する事業承継に対する問題を解決し、事業承継がスムーズに出来るようにサポートする。 	<p>国・墨田区、民間のM&A仲介会社と連携したM&Aの支援や中小企業応援センターのアドバイザーによる窓口相談を実施した。</p> <p>地域中小企業に、事業承継に関する情報提供や、事業承継計画書の作成を促すことを目的に、外部専門家を講師に招き、「事業承継セミナー」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業の後継者に対し、早い段階から経営に対する関心を高め、中小企業後継者が仲間を増やしていくお手伝いと、事業承継後も当金庫の良きパートナーとして相互に発展し地域社会を活性化していくよう、「ひがしん若手経営者の会 ラパン」を組織して活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談件数 39件 ・ 信金キャピタル㈱との連携を通じたM&A成約 1件 ・ 参加者 20名 ・ 実業セミナー、多摩ブルーグリーン倶楽部との合同視察研修、鹿沼ビジネススクールとの交流会、高岡視察研修、地区別交流会会員大会を開催。 平成28年3月末現在会員数 226人
<p>(6) 企業のライフステージ全般にわたる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 首都圏東部地区中小企業応援センター(地域プラットフォーム)による経営相談および専門家派遣の実施 ○ 中小企業経営力強化支援法による「経営革新等認定支援機関」としての機能の発揮 ○ 営業店活動におけるビジネスマッチングの推進 	<p>高度、専門的な経営課題に対応するために適切な専門家を選定し、派遣を実施するもので、地域の支援機関である東京商工会議所墨田支部や東京都中小企業診断士協会城東支部、ITCイースト東京に加え、連携協定締結大学である東京海洋大学、芝浦工業大学、千葉商科大学とコンソーシアムを組成し、地域プラットフォームとして登録した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業が抱える複雑化・多様化する経営課題に対応するため、平成24年8月30日に「中小企業経営力強化支援法」が施行され、中小企業に対して専門性の高い支援事業を行う経営革新等支援機関を認定する制度が創設された。 ・ 商談相手や事業の発注先を探しているお客様に対し、最適な企業を紹介するもの。平成19年度からは店舗業績評価の対象項目に設定し、積極的に取り組んでいる。 	<p>地域事業者の経営・技術課題に対応するための相談窓口の設置および相談対応や専門家派遣の実施、各種施策を周知するためのセミナーの開催等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税理士等の中小企業支援者と連携して補助金等の事業計画策定について支援を行った。 ・ 営業店担当者が営業訪問活動の中でお客様から寄せられるビジネスマッチングニーズに対し、営業店・本部が連携し当金庫のお取引先企業を紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度専門家派遣数 10件 ・ セミナー開催数 4回 ・ 平成27年度認定支援機関「確認書」発行 178件(中小企業庁補助金申請支援件数) ※内、連携している金融機関とし11件発行 ・ 補助金採択は96件 ・ 平成27年度のビジネスマッチング相談件数は968件うち、成約件数は708件(ビジネスフェアでのマッチング含む)

II.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
<p>(1)ビジネスマッチングの推進により地域の活性化を図る</p> <p>○「ひがしんビジネスフェア」を活用した取引先企業のビジネスマッチング支援</p>	<p>・平成15年から開始した異業種交流会「フォーラム・イン・オーロラ」を継続して実施し、平成19年の第7回から名称を《ひがしんビジネスフェア》とし、当金庫取引先以外にも広く門戸を開放した異業種交流会として開催している。また、支店単位で取引業者などを紹介するビジネスマッチングも行っている。</p>	<p>・平成19年から《ひがしんビジネスフェア》と改称して、当金庫取引先に限定せず、広く参加企業・参加者を募るビジネスマッチングの機会として実施している。墨田区、江東区、江戸川区をはじめ各商工会議所、法人会、産業団体などの協力を得て、平成19年からは両国国技館で開催してビジネスマッチングの機会を広く提供している。</p> <p>また、当金庫支店単位で取引業者などを紹介する活動も行っており、平成19年度からは店舗業績評価にも反映させ、積極的に取り組んでいる。</p>	<p>・《ひがしんビジネスフェア》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展社数 176社 ・個別商談会へのバイヤー企業招へい数 13社 ・商談数 105件
<p>(2)商工会議所との連携強化による地域活性化への取組み</p> <p>○ 商工会議所との連携強化による地域活性化への取組み</p>	<p>・中小企業が抱える複雑化・多様化する経営課題への対応や地域活性化のためには、他の支援機関と連携した取り組みが必要とされている。</p>	<p>・国や自治体の施策活用の促進を目的とした施策説明会の共催、自治体が行う創業や事業承継の支援への共同参画と連携した支援等を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策説明会の開催回数 4回 ・創業支援者会議への出席 6回 ・事業承継支援者会議への出席 3回 ・事業承継シンポジウムの開催(H28/2/12) 約120名参加

Ⅱ.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
<p>(3)ライフサイクルに合わせた預金商品の取り扱いによる支援機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ひがしんファミリーとくどく定期積金の取扱い ○ がん検診受診率向上啓発定期預金「ひがしん なでしこ」の取扱い ○ 退職金定期預金「ひがしん 耀(かがやき)」の取扱 ○ 年金受給者向け定期預金「わ～い・わ～い500」の取扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活費や教育費のかかる子育て世帯に対し、将来の備えと貯蓄を目的として積立を行う事を奨励し、必要な時にはローンが利用できる機能を付加させて、平成19年7月より取扱いを開始。 ・ 商品は下記の4種類 50万円コース(17千円×36回、12千円×60回) 100万円コース(34千円×36回、23千円×60回) ・ 墨田区と「健康づくり推進に向けた包括的連携に関する協定」を結び、墨田区内在住の20歳以上の女性で、墨田区が実施する乳がん、子宮がん検診を受診される方に対し、専用の2年もの定期預金(受診が2年毎)の加入者にオリジナルバッグをプレゼント。(平成24年10月より取扱い) ・ 増加する定年退職者の受け皿商品として、平成25年1月より取扱いを開始し、退職金受取後1年以内の個人顧客を対象として、下記の商品を用意。 定期預金 3ヶ月もの 1.20% 定期預金+新規年金受給口座 3ヶ月もの 1.50% ・ 当金庫にて年金受給口座を保有している顧客に対し、定期預金の金利を優遇し、年金受給口座の流出を防止する囲い込みツールとして、平成8年11月より取扱いを開始。(裁定請求、指定替手続中の顧客も可としている) 預入限度額 500万円 取扱金利 店頭表示金利+0.075% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫のホームページに掲載するとともに、店頭掲示ポスター、据置チラシ等において、店頭来店顧客を中心に推進している。 子女の人数が増える程(上限3人)、基準金利に上乘せする金利が優遇される商品であり、学校自振(教材費・給食費)口座作成のために来店されるお客様に、積極的に推進し、好評を博している。 ・ 墨田区内の9店舗に対し、店頭掲示ポスター及び、据置チラシを配布して、啓蒙活動を行うとともに、墨田区が発送する、がん検診の通知の封書に、商品のチラシを同封して告知している。 ・ ホームページへの掲載、並びに店頭据置チラシを作成し、新規顧客を中心に推進活動を展開。 3ヶ月の短期商品である事を踏まえ、満期までの間に投資信託や、保険商品の契約に向けた、推進活動を実施している。 ・ ホームページへの掲載、店頭掲示ポスター、チラシを作成し、営業係を中心として積極的に推進活動を実施している。又、年金推進ポスター、チラシにも優遇商品として記載している。 平成26年4月より預入限度額が、300万円から500万円に増額している。 	<p>【平成27年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約件数 1,068件 ・ 契約金額 1,024百万円 ・ 契約件数 2件 ・ 契約金額 1百万円 ・ 契約件数 70件 ・ 契約金額 727百万円 ・ 契約件数 45,230件 ・ 契約金額 82,404百万円
<p>(4)地域に密着した顧客の組織化推進による多様なサービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主の会 ひがしんビジネスクラブ「オーロラ」 ○ 年金受給者の会 (当金庫受給口座指定者) ひがしん「わいわい倶楽部」 ○ 女性の会 ひがしんレディースクラブ「レインボー」 ○ 若手経営者の会 ひがしん若手経営者の会「ラパン」 	<ul style="list-style-type: none"> ① ひがしんビジネスクラブ「オーロラ」(平成4年7月発足) 事業経営に関する会員の情報交換、相互交流を行い、地域の経済発展に寄与する事を目的とする。 ② ひがしんわいわい倶楽部(平成7年4月発足) 会員相互の交流と親睦を図り、豊かな生活と健康の維持増進を目指し、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。 ③ ひがしんレディースクラブ「レインボー」(平成20年9月発足) 各種催事を通じて会員の個性を發揮し、創造性を高め、会員相互の交流と親睦を図ることを目的とする。 ④ ひがしん若手経営者の会「ラパン」(平成20年12月発足) 若手経営者・後継者で構成。加入資格は45歳以下。 企業経営を担う経営者相互の交流と、経営に関する啓発・情報交換を通じて、新しい経営の在り方を学ぶとともに、会員同士の親睦を図ることを目的とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各顧客組織の各種活動を通じて、より一層のコミュニケーションを図り、当金庫の良きパートナーとして相互に発展していき、地域社会を活性化していく。 ① ひがしんビジネスクラブ「オーロラ」 ・ 年1回会員大会開催 ・ 地区毎または、各支部において経営勉強会、講演会、研修会、懇親会などを開催 ② ひがしんわいわい倶楽部 ・ 文化、教養、趣味などの講演会・講習会の開催 ・ 旅行、観劇会、スポーツ競技会等の開催 ・ 高齢者の介護関連支援事業 ③ ひがしんレディースクラブ「レインボー」 ・ 年1回の会員大会開催 ・ 文化、教養、趣味などの講演会・講習会の開催 ・ 旅行、観劇会、スポーツ競技会等の開催 ④ ひがしん若手経営者の会「ラパン」 ・ 年1回会員大会開催 ・ 勉強会、研修会、研究会、講演会の開催 ・ 産業視察、工場見学の開催 ・ 他団体との交流事業の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客組織化の各種活動を通じて、より一層のリレーションが図られ、会員間での交流の輪が拡大していくことで地域活性化につながる成果が期待できる。 今後も、各組織会員のニーズにマッチした事業を実施するとともに、地域貢献・社会貢献活動も実施していく。 ① ひがしんビジネスクラブ「オーロラ」(3月末会員数 1,633社) ② ひがしんわいわい倶楽部(3月末会員数 46,083名) ③ ひがしんレディースクラブ「レインボー」(3月末会員数 601名) ④ ひがしん若手経営者の会「ラパン」(3月末会員数 226名)

II.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
<p>(5)「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方版戦略策定へ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地方創生」に関する金庫内体制の整備 ○ 地方公共団体等に対する情報提供 ○ 地方版戦略策定に係る総合戦略推進組織への積極的関与 ○「地域企業応援パッケージ」に基づく創業等各種事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」関係業務は、多岐にわたるため、金庫内における取りまとめ部署を決定するとともに、金庫としての取組みを明らかにするため対外的に明示する必要があると判断した。 ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において地方版総合戦略の策定に当たり産官学金の連携・関与が求められている。 ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、金融機関には、事業者のライフステージに応じた各種支援が求められている。 ・平成27事務年度「金融行政方針」において、地方創生に貢献することが期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取りまとめ部署をお客様サポート部に決定し、ホームページで公表した。 ・主要営業エリアの墨田区、江東区、江戸川区の担当部署に当金庫の協力体制、取組み内容について説明を行った。 ・地方版総合戦略策定にあたっての国の相談窓口である関東経済産業局と区役所担当部署との情報チャネルの構築に協力した。 ・主要営業エリアの墨田区、江東区、江戸川区の担当部署に総合戦略推進組織を組成する場合の参加働きかけを行った。 ・ I「顧客企業に対するコンサルティング機能の機能」記載の取組のほか、以下のような取組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ①国際ユバースタイルデザイン協議会・芝浦工業大学等と連携した48時間デザインマラソンプロジェクト実施 ②信金キャピタル(株)の創業・育成&成長支援ファンド「信金の翼」と連携した案件の発掘・組成 ③都立橋高校、安田学園高校と連携した高校生ドリムプランコンテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年6月 お客様サポート部に「まち・ひと・しごと」総合窓口を設置。 ・墨田区、江東区、江戸川区のほか当金庫営業エリア内各自治体で地方版創生総合戦略が策定された。 ・各区の方針により、総合戦略推進組織の組成が学識経験者のみ(墨田区)、もしくは組成を行わない(江東区、江戸川区)こととなった。 ① 48時間デザインマラソンへの参画 製品化プロジェクト合同分科会 3回開催 顧客企業を中心として、提案に係るデザインの製品化チームが組成された。 ② 1件 30百万円実行 ③ 10チーム、31人が参加
<p>(6)地域活性化ローン「粋」・「雅」・「商店街応援ローン」・「マイライフ」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活性化ローン「粋」・「雅」・「商店街応援ローン」・「マイライフ」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京スカイツリーの開業で活性化が見込まれる地域の資金ニーズに応える事を目的とし、設備資金に限定した商品として、事業先対象の「粋」、個人対象の「雅」として、平成24年4月から取扱いを開始。 ・個人の「雅」については、平成24年7月に資金使途を改定し、利用できる幅を広げた。 ・法人の「粋」についても、平成26年10月に資金使途を改定し、運転資金の利用を可能とし、地域顧客の利便性向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「粋」については、事業先対象の商品で、店舗改装、新規開業・創業に係る設備等の設備資金ニーズに対応する商品としておりましたが、資金使途の改定を行い、太陽光発電設備や、運転資金にまで資金使途を拡大するとともに、融資条件も緩めている。 ・個人対象の「雅」についても、資金使途を「健康で文化的な生活を営む為に必要な資金」として、利便性を高めている。 ・「粋」を利用した新商品「商店街応援ローン」の取扱いを開始、商店街の事業所に特化した商品として、地元商店街の活性化に寄与している。 	<p>【平成27年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「粋」 実行件数 1,343件 実行金額 4,881百万円 ・「雅」 実行件数 84件 実行金額 180百万円 ・「商店街応援ローン」 実行件数 205件 実行金額 566百万円

II.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
<p>(7)信用金庫業界のネットワーク活用</p> <p>○ 全国信用金庫協会や信金中央金庫、各信用金庫のネットワークを活用した連携支援</p>	<p>・信用金庫業界の広域連携先との情報網を活用し、ビジネスマッチングの機会と企業経営者の交流を目的としている。</p>	<p>・大和信金やましんビジネスクラブ若手経営塾とひがしん若手経営者の会「ラパン」との視察・交流会を実施。</p> <p>・高岡信金とひがしん若手経営の会「ラパン」との広域連携視察を実施。</p> <p>・旅行企画に於いて、他信金の取引先のホテル、飲食店、お土産店などを旅行行程に組み入れる。</p>	<p>・平成27年9月3日大和信金「やましんビジネスクラブ若手経営塾」による(株)浜野製作所、橘銀座通り商店街の視察を催行。</p> <p>・平成27年7月6日～8日「八重山諸島めぐり3日間の旅」を催行。コザ信金の取引先のホテル・飲食店・お土産店を旅行企画に組み入れる。</p> <p>・平成27年11月13日～14日「地方創生富山応援ツアー」を催行。高岡信金の取引先企業の工場見学や企業視察及び、経営者同士の交流会を実施。</p> <p>・平成28年2月14日～3月10日「河津桜まつりと稲取銀水荘に泊まる旅」を催行。三島信金の取引先のホテル・飲食店・お土産店を旅行企画に組み入れる。</p>

Ⅲ.地域や利用者に対する積極的な情報発信	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
(1)ガバナンスの強化			
<ul style="list-style-type: none"> ○ ひがしん「経営報告会」の開催 ○ 総代との意見交換会 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度から信用金庫版のIR活動として「経営報告会」を開催している。「経営報告会」は、出資会員の方々を中心に、当金庫の経営内容や経営方針を積極的に開示することによって、地域から一層の信認を得ることを目的としている。 ・金庫運営に関して会員等の意見・要望等を反映させる為、地区ごとに総代と代表役員が意見交換会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は、「ひがしん経営報告会」として3会場にて開催した。 ・平成27年度は、「総代との意見交換会」として地区を細分化して16回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年9月7日「船堀タワーホール」 江戸川・千葉地区 参加者200名 ・平成27年9月8日「東京江戸博物館ホール」 墨田・江東地区 参加者400名 ・平成27年9月10日「浅草ビューホテル」 西・北地区 参加者200名 ・10月5日から11月12日まで16回開催 参加者:総代・代表役員・地区担当役員・支店長
(2)地域に対する情報発信			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ディスクロージャー誌」・「ひがしんを知っていただくガイドブック」・「Good Smile」・「わいわい倶楽部通信」・ホームページ等を活用した情報発信 ○ 地域密着型金融の取組み状況・取組み項目の情報発信 ○ 映像取材による地域密着活動の紹介(ロビー映像)等による情報発信 ○ 地域密着・Face to Faceを基本としたポスター等の媒体物による情報発信 ○ マイナンバー制度説明会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に金庫の活動や取組みについて、今まで以上に知っていただき、信頼され愛される金庫とするために通期ディスクロージャー誌、通期ミニディスクロ、半期レポートの他、「ひがしんを知っていただくガイドブック」を作成した。 ・社会貢献活動や、産学官金連携などを取材しロビー映像として放映することで企業情報や金庫の取組みを地域へ発信した。 ・縁からつながる地域の輪を大切にして、地域社会の活性化を目的に、地域及び企業紹介により地域のコミュニティづくりを積極的に応援する。 ・平成28年1月から始まるマイナンバー制度を顧客組織の会員企業に理解していただくことを目的としたセミナー。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひがしんを知っていただくガイドブック」については、当金庫のブランド力である「産・学・官・金」連携事業の紹介の他、金庫の経営課題とそれに対する具体的施策の取組み状況、当金庫のビジネスモデルやCSR活動など写真を多用し、お客様に分かり易く紹介した。 ・当金庫の社会貢献活動、各種イベント情報や地域行事、金庫の取組等を積極的に取材し、デジタルサイネージにて配信している。 ・当金庫情報誌「Good Smile」、「わいわい倶楽部通信」等で、地域及び企業紹介により、お客様とのパートナーシップをを大切にしている。 ・オーロラ地区別にマイナンバー制度説明会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひがしんを知っていただくガイドブック」については40,000部作成し、「ひがしん経営報告会」の他、店頭及び営業の訪問先に配布しPRができた。 ・当金庫76カ所の店舗(本支店・有人出張所)や各種イベントで放映している。 ・当金庫情報誌「Good Smile」 発行部数 40,000部 ・「わいわい倶楽部通信」 発行部数 40,000部 ・10/9～10/27地区別マイナンバーセミナー8回にて開催 参加者840名 ・7/23会員向けマイナンバーセミナー開催 参加者69名

Ⅲ.地域や利用者に対する積極的な情報発信	動機(経緯)	取組み内容	実績(実施状況)
(2) 地域に対する情報発信			
<p>○ 特殊詐欺の撲滅に向けて、振り込め詐欺未然防止ロールプレイング大会の開催</p>	<p>・ 顧客保護管理体制の強化を図り、顧客の大切な財産を守るとともに、より凶悪化、巧妙化している手口に対処できるよう全職員が知恵を絞り、振り込め詐欺等特殊詐欺の被害を未然に防止することを目的としている。</p>	<p>・ 平成27年度は、「振り込め詐欺等特殊詐欺を未然に防止するには・新たなる犯罪に立ち向かう」というテーマで地区大会を勝ち抜いた代表6チームによる金庫大会を江戸東京博物館にて開催。</p> <p>・ 警視庁、地元の本所・深川・城東・向島の各警察署との共催という形をとり、ホットライン通報等の啓蒙をはかった。</p> <p>・ 第一部をひがしんわいわい倶楽部友の会の落語セミナーとして、高齢者の方々に積極的な参加を呼び掛けた。</p> <p>・ 金庫大会優勝チームが(社)金融財政事情研究会主催の窓口対応・セールスロールプレイング全国大会へ出場。</p>	<p>・ 平成28年1月18日「江戸東京博物館大ホール」 参加者 約280名</p> <p>・ 平成28年2月5日「ニッショーホール」</p>